

【長崎県平戸市】 校務D X計画

学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童・生徒と直接関わる時間や授業準備等、授業の質を向上させるための時間を確保し、教職員の働き方改革を進めるとともに、学校全体の指導力の向上につなげるため、クラウドツールの活用を前提とした校務D Xを積極的に推進します。

1 ネットワークの再構築

校務D Xを推進するための基盤として、校務系・学習系ネットワークの統合、多要素認証の導入などのネットワーク環境の再構築を行います。また、外部通信を行うための適切な帯域が確保できるサービスが提供できるよう、インターネット通信環境通信事業者に対し要請を行います。

2 校務D Xの推進

- (1) 教育委員会主催の教職員対象研修会について、教職員が時間的制限から開催されるようハイブリッド型・オンデマンド配信を前提とした開催とします。
- (2) 教員間の情報伝達を確実にを行うため、グループチャットを導入します。
- (3) 学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、引き続き、原則、メールや共有フォルダを利用して行い、押印についても原則廃止に取り組みます。
- (4) 紙（連絡帳）や電話で行っていた保護者への連絡手段・アンケート、保護者からの欠席連絡について、学習eポータルと連動したアプリによる連絡に移行します。
- (5) 教職員の手入力作業等については、デジタル採点システムの導入し負担軽減を図ります。
- (6) 就学援助事務システムを導入し、ぴったりサービスでの申請を可能とすることで、申請書作成に係る保護者負担、集計作業等の教職員の事務負担の軽減を図ります。
- (7) 日本スポーツ振興センター共済負担金の保護者徴収金などの現金取り扱いによる教職員の負担軽減を図るため、キャッシュレス決済等の導入を検討します。
- (8) 「初等中等教育段階における生成A Iの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成A Iの導入の検討を行います。
- (9) 次世代の校務システムにおいては、今後も長崎県推奨システムを使用することで、人事異動による教職員のシステム操作への不安を解消、県下市町への連絡などを可能とします。また、出席簿のデジタル化など校務D Xを推進するうえで必要な改修については、県下自治体と協力し県に要請します。